健康と信頼をお届けする

日清製粉グループ

NEWS RELEASE

２０２６年１１月２５日

日清エンジニアリング「nano tech 第26回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に出展

日清製粉グループの日清エンジニアリング株式会社（取締役社長：後藤 卓弘）は、２０２６年１２月１６日（水）～１２月１８日（金）の３日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「nano tech 第26回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に出展します。

■ ブース概要（小間番号：3S－U14 南3･4ホール）

当社は、「高周波熱プラズマ」を用いたビルドアップ法と、「粉砕」「分級」などのブレークダウン法を中心に、ナノサイズからミクロンオーダーまで幅広い粒子・粉体技術を展開しています。

電子材料、半導体・パワーデバイス、電池材料、磁性材料などの分野では、粒子の「微細化」「緻密化」「均一化・安定化」に加え、球状化や表面処理など、粒子そのものの高機能化へのニーズも高まっています。当社では、独自の粉体技術と受託加工を通じて、お客様の材料開発・モノづくりをサポートします。ブースでは、パネル、実機、電子顕微鏡写真、製造サンプルなどを用いて、粉体装置から受託加工まで幅広い技術・実績をご紹介します。

高周波熱プラズマ技術では、酸化物、金属、窒化物、炭化物、合金、複合酸化物などのナノ粒子製造をはじめ、粒子の球状化処理や表面処理について、実際の加工事例やサンプルを交えてご紹介します。

また、粉体機器では、１００ｎｍ以下の乾式分級を実現する旋回式分級機「エアロファインクラシファイア」、シングルミクロンまでの粉砕やサブミクロン粒子の解砕・分散に対応する気流式粉砕機「スーパージェットミル」をはじめ、各種粉体技術をご紹介します。

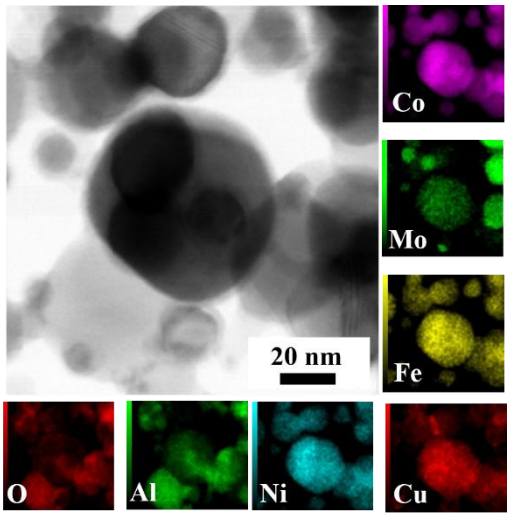
【主な出展内容】

≪技術・サービス≫

■ナノ粒子加工

～高純度、高分散、シャープな粒度加工～

「高周波熱プラズマ法」により、セラミックス、金属、窒化物、炭化物などの無機材料をナノ粒子化。さらに、次世代材料として注目される「ハイエントロピー合金」をはじめ、多元素系合金や複合酸化物のナノ粒子製造技術を紹介します。



▲ハイエントロピー合金 ナノ粒子分析例

■分級・粉砕加工　～微細化・高精度分級を実現～

多種多様な粉体を対象に、数十ミクロンからサブミクロンサイズまでの粉砕・分級加工技術を紹介します。超微細化や主成分の高純度化など、幅広いニーズに対応します。

≪展示機器≫

■エアロファインクラシファイア

微細領域（シングル～ナノ領域）での粗大粒子の除去能力に優れた旋回式分級機です。

■スーパージェットミル

シングルミクロンへの効率の良い粉砕が可能な気流式粉砕機です。

■フィードコンμ（減圧・加圧粉体供給システム）

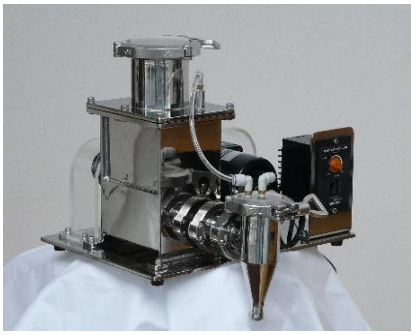
減圧や加圧雰囲気下へ粉体を噴霧供給することを可能にした粉体供給システムです。



▲エアロファインクラシファイア



▲スーパージェットミル



▲フィードコンμ

■ 「nano tech 第26回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」概要

■開催期間：２０２６年１２月１６日（水）～１２月１８日（金）
■開催時間：１０：００～１７：００
■会　　場：東京ビッグサイト 南３・４ホール（東京都江東区有明３－１１－１）
■主　　催：nano tech実行委員会、株式会社JTBコミュニケーションデザイン
■Ｗｅｂサイト：https://www.nanotechexpo.jp/

以上

この件に関する報道関係者のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社　総務本部　広報部　担当：清水
電話：０３－５２８２－６６５０（お問い合わせフォームはこちら）